

劇団四季「ライオンキング ウェブシアター」 東北新社グループの英勉が監督！

東北新社のグループ会社・ティーエフシープラス（東京都港区・町田博社長）のディレクター英勉（はなぶさ・つとむ）が監督を務めた劇団四季の人気ミュージカル『ライオンキング』のウェブサイト限定実写ドラマ「ライオンキング ウェブシアター」の配信がスタート、早くも話題となっています。

天才舞台芸術家ジュリー・テイモアの斬新な演出によって、アフリカの大自然を舞台に繰り広げられるミュージカル『ライオンキング』は、1998年12月から劇団四季の代表作として上演され、今年で11年に及ぶロングランとなっています。そんな中、『ライオンキング』をより幅広い層から身近に感じてもらうため、今回、劇団四季初めての試みとして、中学校や屋台のおでん屋といった日常の生活シーンに同作品のキャラクターが登場するウェブ用パロディドラマ全5話が制作されました。各話3分以内の作品で、出演者のほとんどは、実際の『ライオンキング』の舞台に出演している役者たちで構成されています。

英監督は1968年生まれの41歳。1992年東北新社入社、現在は、演出家やカメラマンといったクリエイティブ集団である東北新社グループのティーエフシープラスに出向。監督はこれまで、『ウィキッド』『春のめざめ』『ミュージカル李香蘭』『夢から醒めた夢』『壁抜け男』ほか、10年ほど前から多数の劇団四季ミュージカル作品のCM演出にも携わってきています。近年では、アコム「計画的に計画」、東芝「大清快」、JT「taspo／夜のtaspo」といったCMを演出、また、フジテレビドラマ『悪夢のエレベーター』やTBS連続ドラマ『こちら葛飾区亀有公園前派出所』の演出、2008年公開映画『ハンサム★スーツ』の監督も務めるなど、CM、映画、テレビドラマなど幅広い分野で活躍しています。今回のウェブシアターは、英監督のほか、プロデューサー、制作、撮影、録音、編集と、東北新社グループで協力して制作しています。



第1話『ホームルーム』(C)Disney

「ライオンキング ウェブシアター」

- 第1話『ホームルーム』
- 第2話『校庭』
- 第3話『校庭 その2』
- 第4話『三者面談』
- 第5話『屋台のおでん』

プロデューサー：大嵐論、根本一也（東北新社）
 制作：樋口佳克、稲田史也（東北新社）
 監督：英勉（ティーエフシープラス）
 撮影：藤本信成（ティーエフシープラス）
 小澤浩幸（オムニバス・ジャパン）
 鈴木靖之
 照明：尾崎智治
 美術：北谷岳之（テレビ朝日クリエイト）
 録音：富沢真（オムニバス・ジャパン）
 編集：宮崎努（東北新社）
 矢部徹（オムニバス・ジャパン）
 効果：武田拓也（メディアハウス・サウンドデザイン）

公式HP <http://www.shiki.gr.jp/applause/lionking/>